

## 【続・「学んだことを整理して文で書く」という受験勉強方法について】

### 1. 「学んだことを整理して文で書く」

2025年11月20日に掲載した「『学んだことを整理して文で書く』という受験勉強方法について」<sup>注1)</sup>というダウンロード資料の中で以下のことを書きました。

「整理して文で書く力」を鍛える方法とは、学んだことの要点や要約を自分の言葉でノートに手で書くことです。

この方法で勉強することが、「筆記試験で、解答が頭の中にあったがこれを時間内で書くことができなかつたので不合格になった」という失敗を繰り返さないための対策です。

注1)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「『学んだことを整理して文で書く』という受験勉強方法について」の資料を参照のこと

### 2. 継続して行う

この方法で勉強するうえでのポイントは、学んだことの要点や要約を自分の言葉でノートに手で書くことを継続して行うことです。学んだことの要点や要約を自分の言葉でノートに手で書くことを継続して行うことで頭の中を整理することに徐々に慣れてきます。

筆記試験に合格するうえでの重要な一つは、試験場で実力を発揮できるようにすることです。どのような精神状態でも受験勉強の中で培った力を試験場で発揮できれば筆記試験の合格が見えてきます。頭の中を整理することに慣れておけばどのような精神状態でも頭の中を冷静に整理できます。

また、継続して行うことで、知識や技術も頭の中にインプットされて試験問題の解答を考えるための引き出しがどんどん増えていきます<sup>注2)</sup>。つまり、一石二鳥です。

注2)：「技術士試験対策・ダウンロードコーナー」の中の「学んだことの幅を広げる』という受験勉強方法について」の資料を参照のこと

### 3. 継続は力なり

短期間では、頭の中を整理することに慣れないかもしれません。しかし、“継続は力なり”です。学んだことの要点や要約を自分の言葉でノートに手で書くことを地道に継続すれば必ずこの成果が出ます。